



「化石の日」
関連イベント

～化石の日2019 スペシャルトーク開催～

深 田 研 一 般 公 開 2 0 1 9

公益財団法人 深田地質研究所



都営地下鉄三田線 千石駅下車 A1 出口より徒歩3分

2019年10月6日(日)開催 10時～16時

入場無料



公益財団法人 **深田地質研究所**
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-12
TEL 03-3944-8010 mail fgi@fgi.or.jp

- 全館禁煙
- 自動販売機はありません
- 駐車場は使用できません

<http://www.fgi.or.jp>

主催：公益財団法人深田地質研究所 / 後援：日本古生物学会 / 協力：応用地質(株), (株)環境総合テクノス, (一社)黒部・宇奈月温泉観光局, 黒部峡谷鉄道(株), 三陸鉄道(株), 富山大学理学部生物圏環境科学科, 南紀熊野ジオパーク推進協議会, (一社)日本地質学会, 文京区富士前町会, 三笠ジオパーク推進協議会, 三笠市立博物館 [五十音順]



ふかだけんいつぱんこうかい

深田研一般公開 2019

10/6(日) 10:00~16:00

くわしい案内はwebをご利用ください
<http://www.fgi.or.jp>

深田研レクチャー

申込不要

【会場】 深田地質研究所 会議室ほか

10:30 山麓団地を襲う土石流からどう逃げるか
11:00 -避難に役立つ被害予測地図とは

横山俊治 (客員研究員)

11:00 北海道胆振東部で発生した崩壊・地すべり

11:30

大八木規夫 (特別研究員)

11:30 都市の身近な地形・地質を楽しもう

13:00

レクチャー&地形実験

都心の凹凸に富んだ地形の特徴を、12万年の気候変動と地殻変動の地球史の産物として、その成り立ちを紹介いたします。*地形実験は屋外で行います。

木村克己 (客員研究員)

池田 宏 (特別研究員)

下茂道人 (主席研究員)

12:45 ジオ鉄以前の黒部峡谷をジオ鉄目線で

13:15

探勝する

柏木健司 (富山大学理学部准教授)

15:10 機械学習で変わる地球科学データの

15:40

解釈方法

磯 真一郎 (上席研究員)

ご来場にあたって

- 全館禁煙です。 ■ 駐車場は使用できません。
- 自動販売機、飲食物の販売はありません。
- 飲食物の持込み OK です (休憩コーナー有)。



※ 当日所内でスタッフが記録した写真は、webや、深田研ニュース等に掲載させていただきます。予めご了承ください。

体験学習

当日受付

● 作って楽しむ
アンモナイトアクセサリ
(先着 8 名) 11時から受付

● 化石発掘体験
(先着 30 名、各回 10 名×3)
13時から受付

防災教育

● あなたのお家「地盤診断」ほか

展 示

- 化石展示
- あんもふれんず
- 世界のクリノコンパス
- 研究所の活動
(研究成果・出版物など)
- 大気中メタンガスの揺らぎから活断層を探る
- 水中火山岩関連
- そのほか
- ジオ鉄関連展示
- 黒部峡谷鉄道のジオ鉄
- 三陸鉄道のジオ鉄
- JR 紀勢本線のジオ鉄



● 第 10 回惑星地球フォトコンテスト
(主催：日本地質学会) 作品巡回展示

化石の日2019 スペシャル トーク

new

「化石の日」にちなんで古生物学者のみなさんが化石の魅力をつぶり語る新企画！お楽しみに♪

【会場】 深田地質研究所 研修ホール

10:20 ~ 11:20

1

古生物学者になりたい！

申込不要

奥村よほ子 (佐野市葛生化石館), 宮田真也 (城西大学), 泉 賢太郎 (千葉大学)
木村由莉 (国立科学博物館 地学研究部), ロバート・ジエンキズ (金沢大学)
矢部 淳 (国立科学博物館 地学研究部), 中島 礼 (産総研 地質情報研究部門)

日本古生物学会所属の若手研究者によるリレートーク。古生物学者と一口で言っても、いろいろな職業(例：大学教員、博物館、研究所)があります。代表的な「古生物職」に従事している方から、それぞれの職業の魅力、どうして(何のきっかけで)古生物学者を目指し今に至るのか、その魅力をお話します。

11:20 ~ 12:20

2

古生物学者に聞く!「ケンキュウ」ってなんだ!?

申込不要

相場大佑 (三笠市立博物館), 村宮悠介 (深田地質研究所)

古生物学者たちの長きに渡る研究によって、大昔のいきものに関する様々なことが分かってきました。では、古生物学の「研究」とは、どのように行われるのでしょうか? アンモナイトを専門とする若手古生物学者が、普段は語られない研究の過程を楽しくお話します。

13:30 ~ 15:00

3

特別講演

「恐竜博 2019」の標本たちから進化の話を聞いてみよう

※特別講演(13:30~)の入場は「整理券」が必要です。「整理券」は当日10時より受付で配布します。【先着60名】

当日受付 10時から整理券配布

まなべ まこと
真鍋 真 (国立科学博物館 標本資料センター長)



撮影：田中健一

ディノニクスという新種の獣脚類恐竜が命名されて今年で50年。「恐竜温血説」と「鳥類の恐竜起源説」のきっかけとなった「恐竜研究史の変曲点となった種」です。「恐竜博 2019」*では、門外不出とされていたホロタイプ標本の来日が実現しました。これまでの50年の恐竜学の進歩から、近未来の研究の展望まで、「化石の日」に「もの言わぬ」化石から、化石の魅力と可能性に想いを馳せてみませんか?

*「恐竜博 2019」開催中 10/14 まで (国立科学博物館・上野)

※当日イベントで恐竜化石の展示はありません。